

広報たしろ

No. 410

昭和62年10月号

田代町企画管財課



人口のうごき

昭和62年9月1日現在

住民基本台帳人口		増		減		前月対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,950	5	6	1	10	0
女	2,148	3	10	4	5	4
計	4,098	8	16	5	15	4
世帯数	1,439					△1

集団災害事故訓練
「救急の日」
 九月九日（救急の日）に、田代町において集団災害事故訓練が行われました。
 訓練をしたから、事故が起きないわけではありません。町民一人一人が事故防止に取り組んで、事故のない町にしていきたいものです。

75歳以上の お年寄り349人

男～128人
女～221人

9月15日 おじいちゃん いつまでもお元気で



松ノ下キクさん

山下89歳



山下ツルカメさん

鵜戸野89歳



宮原栄熊さん

南松園89歳



山下ツマさん

南松園89歳



川畑ウトさん

盤山89歳



大久保モイさん

西中郡89歳



窪スナさん

新田89歳



井手口正義さん

上原89歳



上ノ原エイさん

南松園88歳



松ノ下英之助さん

中尾88歳



藤崎ハルさん

久木野89歳



寺崎フリさん

南松園89歳

敬老の日

おばあちゃん 長生きしてください

88歳以上の お年寄り26人慰問



西元ケサガメさん

中尾96歳



馬庭ケサマツさん

上原96歳

本町最高
長寿者



湯通堂ハルさん

西中郡92歳



安楽ハルギクさん

南松園93歳



原ノ後アキさん

西中郡94歳



半田キノさん

南松園95歳



武田ケサノさん

岩崎90歳



柳田フデさん

上柴立90歳



永山義盛さん

南松園90歳



谷川力子マツさん

南松園90歳



山田フヂさん

盤山89歳



大浦義彦さん

下 89歳



後迫次郎右衛門さん

南松園89歳



山崎ミツさん

柴立90歳

高齢者慰問

毎年九月十五日の敬老の日
に先立ち、町内の八十八歳以
上の長寿の家庭を訪問してお
ります。

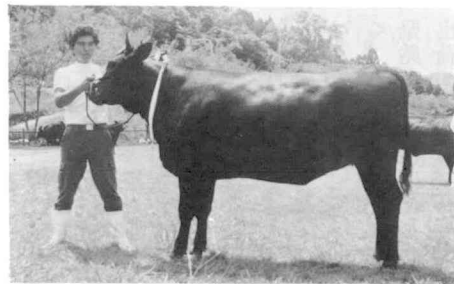
本年も九月十四日に二十六
名のお年寄りの家庭を県、町
議会、婦人会等の代表により
長寿を祝って記念品を贈り慰
問しました。

本町では、七十五歳以上の
お年寄りが三百四十九人（男
百二十八人、女二百二十一人
）で昨年に比べ七人多くなっ
ています。また、八十八歳以
上は、昨年より四人少ない二
十六人でした。

日本人の平均寿命は大幅に
延びてきている現在、長い老
後をどう生きるか。人生八
十年。時代をむかえて、わた
したち一人一人が真剣に取り
組まなければならない問題で
す。

本町の長寿者の年齢別は次
のとおりです。

九十六歳二名、九十五歳一
名、九十四歳一名、九十三歳
一名、九十二歳一名、九十歳
五名、八十九歳十三名、八十
八歳二名となっています。



グランドチャンピオンの
まつきみ35号と宮園さん

田代町秋季畜産共進会 グランド チャンピオン賞 まつきみ35 宮園 敏和

田代町長賞 まつきみ71 辺志切 保美

なんぐう農協長賞 まゆの久保 豊

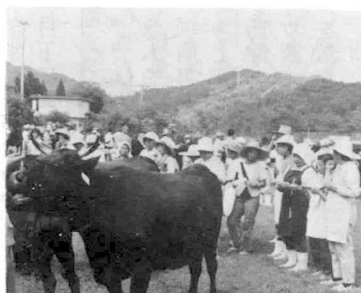
昭和六十二年秋畜産共進会が、八月二十七日川原グランドで行われ、グランドチャンピオン賞に中村集落の宮園敏和さん所有のまつきみ35が輝きました。

この日は、四十七頭の出陳で春の共進会よりも二十五頭

- 秋季郡畜産共進会出品牛
- | | | | |
|--------|--------|-------|-----|
| 一部 | ゆきこ2 | 舞原幸郎 | 鶴園 |
| 二部 | あけみ | 原沢 幸 | 原沢 |
| 三部 | まつきみ35 | 宮園敏和 | 中村 |
| まゆの | ひかり | 久保 豊 | 鶴園 |
| 父系郡 | のりはな51 | 鶴園 満 | 鶴園 |
| まつきみ71 | ゆうすけ | 辺志切保美 | 辺志切 |
| ふじみ31 | 水五三 | 鶴園 | 山下 |

- 育種高等群
- | | | | |
|--------------------|--------|-------|-----|
| 一部 | ふくえ8 | 宮園敏和 | 中村 |
| ふくえ86 | 宮園敏和 | 中村 | |
| ふくえ88 | 宮園敏和 | 中村 | |
| 秋季畜産共進会部門別成績 (順不同) | | | |
| 一部 | ゆきこ2 | 舞原幸郎 | 鶴園 |
| たのわき | 田之脇敬西 | 中村 | |
| さゆり6 | 小路一文 | 早瀬 | |
| 一 等 | あじさい8 | 舞原正成 | 鶴園 |
| まさよ | 柳田 実 | 盤山 | |
| 二部 | まつきみ71 | 辺志切保美 | 辺志切 |
| のりはな51 | 鶴園 満 | 鶴園 | |
| あけみ | 原沢 幸 | 原沢 | |
| ゆうすけ | 岩下芳文 | 山下 | |
| ふじみ31 | 宮園マチ子 | 中村 | |
| ひろこ21 | 宮園マチ子 | 中村 | |
| むつこ1 | 宮園マチ子 | 中村 | |
| いくみ | 浜川 諭久 | 木野 | |
| まつこ4 | 時吉 昭瀬 | 戸口 | |
| あきひめ2 | 元丸敏郎 | 猪鹿倉 | |
| わかやま5 | 小園五男 | 早瀬 | |
| つきはな5 | 川路俊 | 猪鹿倉 | |
| みきこ9 | 上吹越清香 | 表木 | |
| にしぞの | 土器園時夫 | 鶴園 | |
| 第4よしひかり | 折小野浩一 | 岩崎 | |
| なおこ | 猪鹿倉悟 | 猪鹿倉 | |

- 二部
- | | | | |
|---------|--------|-------|-----|
| 一 等 | あきこ | 瀬口宗雄 | 池野 |
| すみれ5 | 平石 勉 | 平石 | |
| ただし | 上東卓郎 | 山ノ口 | |
| みくこ | 貫見広幸 | 池野 | |
| よしみ1 | 近川正人 | 辺志切 | |
| はなみつ6 | 富尾道男 | 上栗立 | |
| ふくいすみ43 | 瀬口末吉 | 上栗立 | |
| さみひめ | 秋山正行 | 西中郡 | |
| 三部 | まつきみ35 | 宮園敏和 | 中村 |
| まゆの | 久保 豊 | 鶴園 | |
| ふじみ31 | 水流五三 | 鶴園 | |
| ひかり | 山田藤富 | 盤山 | |
| みゆき1 | 近川鉄夫 | 辺志切 | |
| きくはな | 宮園清造 | 中村 | |
| たかこ | 貫見広幸 | 池野 | |
| ふくよ | 舞原幸郎 | 鶴園 | |
| いりふね1 | 平原富三 | 鳥淵 | |
| わかよしまる | 柳田正則 | 鶴園 | |
| すみの2 | 安田良則 | 東大原 | |
| かねはや | 山口金造 | 猪鹿倉 | |
| めばえ2 | 瀬口宗雄 | 池野 | |
| 一 等 | たつえ | 上八重勇吉 | 猪鹿倉 |
| あきこ | 猪鹿倉秀志 | 猪鹿倉 | |
| かねひめ | 石原ユリ子 | 久木野 | |
| ふくえ833 | 西元文男 | 下 | |



婦人による審査風景

婦人による審査競技会

昭和六十二年秋畜産共進会より婦人による審査協議会が開催されました。競技会には、十五名の婦人が参加し熱心な審査が行なわれました。

今後技術が向上するよう期待します。

尚、今回の人賞者は次のとおりです。

- 一位
- | |
|--------|
| 鳥淵 ユス子 |
| 舞原 タチ子 |
- 二位
- | |
|--------|
| 平原 タミ子 |
| 山口 ミチエ |
| 大垣 チミ |
| 松田 キサエ |
| 水流 洋子 |
| 原沢 順子 |
| 浜川 良子 |

肝属地域農村振興むら自慢大会開催 二市九町から約千二百人の見物客

肝属地域農村振興むら自慢大会が九月十一日、田代町で開催されました。

大会はまず、開発センターで式典が行なわれ、町長等のあいさつの後、農村振興運動優秀集落リーダーの表彰があり、垂水市水之上地区上之宮集落の園田優さん(52)、吾平町鶴峯西地区大牟礼集落の田之畑才造さん(74)、田代町花瀬地区池野集落の川前徳夫さん(51)の三人が表彰された。その後、農村振興運動



落花生とりに熱中

田代町の農業観光地めぐり

九月十一日、鹿児島市内に在住する田代町出身者を中心とした主婦の皆さんに参加を呼びかけふるさと自然や特産品を目で見て、肌で触れてもらうことをねらいとして、ふるさと交流事業で、「田代町の農業・観光地めぐり」を実施しました。

当日は、天候にも恵まれ、四十六名の主婦の皆さんは、澄んだ空気や水を十分満喫し落花生やサツマイモ掘りでは時間を忘れて袋いっぱいにな



大会式典のようす

推進決議と大会スローガンが採択され、会場を花瀬公園に移した。

花瀬公園には、郡内二市九町の関係者ら約千二百人が集まり大盛況でした。各市、町ごとに、自慢の特産品を展示し即売した。即売場は店開きと同時に客がわんさと押しかけ飛ぶように売れ加工食品、農産物、盆栽などが好評で予定より一時間も早く売り切れしました。

また、参加者に出された弁当にも、花瀬漬、タケノコ、シイタケなど田代町の特産品が使われる徹底ぶり、参加

るまで取っていました。

また、花瀬公園で開催された、肝属地域農村振興・むら



おいしそうな柿はどれかな……

者らは、田代の味を満喫しました。



自慢の特産品を展示

全国道路標識週間

10月5日～11日

全国一斉に「道路標識週間」が実施されます。

道路標識の果たす役割を道路利用者の皆さんに理解してもらうほか、道路標識に対する関心を高めていただくことを目的とするものです。

何げなく利用している道路に標識がなかったらどうなるでしょう。道路の案内標識はドライバーや歩行者のガイド役であり、適切な情報を提供するためのものです。つまり私達が行きたい目的地への方向や距離がわかり、自分の走っている道路がまちがっていないか確認ができます。

道路標識は、このように大切な役割を持っています。県と町では標識の点検整備に努力しています。皆さんのご意見やご要望等お聞かせ下さい。問い合わせ先

大根占土木事務所
電話 二一〇五六
田代町役場建設課
電話 五一二五一

早朝マラソンは本校の伝統の一つです。今年はこの早朝マラソンを少し改革した。
○名称を「がんばりマラソン」とした。
○昨年まで「自主マラソン」という名称でしたが、子どもたちから新しい名称を募集したところ「がんばりマラソン」が多いでした。子どもたちの意気込みがよく表われています。
○はだし・はだかで走る。
はだして歩き肌を日光や風にさらすのは、健康のためにたいへんよいことです。そこで、今年は全校児童がはだして走っています。その上、男子は上着をぬいではだかで走っています。
はだして歩くことは脳を刺激し身体もじょうぶにするということ、学校では一日中はだしてすごしています。
○マラソンで日本一周する。
玄関に日本地図・鹿児島県地図・走行距離一らん表をはりました。毎日十周、三

教育だより

がんばりマラソン

大原小学校



十周走ります。二十周走ったらシールを一つ一らん表にはっていきます。

夏は汗をびっしょりかきながら走りました。少し寒くなったこのごろも、はだし・はだかでがんばって走ります。
○二年男
「はじめはいたかったけれども、このごろはあまりいたくない。はだかだからすずしくていい。」
○三年女
「はだして最初はいたからたけれども、なれたから



いたくない。男の人ははだかだからすずしそうでいい。」
○四年男
「はだしだから早く走れない。でも、土が冷たいから気持ちいい。」
○六年女
「足がいたいけれど健康のためだからはだしでいい。慣れてくると気持ちがいい。」
半数の子ども達が鹿児島県をとり出し、宮崎県や熊本県を走っているこのごろです。

PTA研修視察

田代中学校



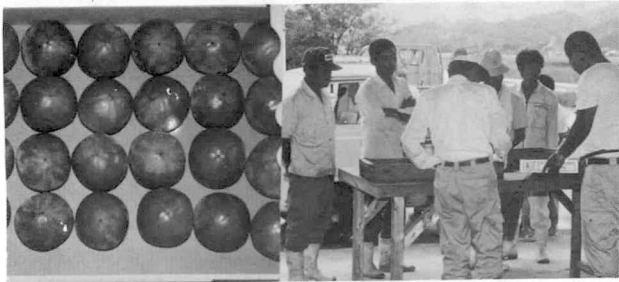
七月二日、家庭教育学級を中心とした研修視察一行二十名は、八時十五分開発センターをマイクロバスで出発しました。
約五十分後、今年四月開校された鹿屋東中学校に着きました。さすがに新設校だけあって校舎の造り方も四角四方に一巡して、その中心に樹木を二、三本植えた芝生の憩の庭ともいえる中庭が作られていて、上履きのまま出られる庭がありました。

まず、校舎の屋上から学校全景を眺めながらの説明を聞いた後、きれいに手入れされた校内の見学となりました。
見学の主なものは、生物工学科の実験室で、現在報道されている植物培養についての説明を聞きました。
それから、農場の見学をして最後に積善寮を見て、生徒の寮生活の一端を見学して、帰途に着きました。

むらづくり一品運動

柿初出荷

今年初めて（九月七日）、むらづくり一品運動の推進作物である柿の出荷がされました。
今年は、八月上旬の雨続きのため玉伸びが悪かった反面、着色等については非常によく、当日五十キログラムを鹿児島市場に初出荷しました。出荷の結果は、初取引ということも手伝って、一キログラム当たり八百円の高値で取引されました。



箱詰めされた柿と選別風景

○児童手当のしくみ

(1) 児童手当を受けられる人
(ア) 昭和五十八年四月二日以後に生れた児童を含む十八歳未満の児童を二人以上養育していること。または昭和五十三年四月二日以後に生れた児童を含む十八歳未満の児童を三人以上養育していること
(イ) その人の前年（一月から五月までの月分の児童手当については前々年）の収入が、一定額に満たないこと。

〔所得制限限度額表〕
(62年6月分以降について適用)

養育者の親族数	児童手当	特例給付
0	133.6万円	325.5万円
1	163.6	355.5
2	193.6	385.5
3	223.6	415.5
4	253.6	445.5
5	283.6	475.5
6人以上	1人増すごとに30万円加算	

○児童手当の額

児童手当の額は、二人目の四歳未満（昭和六十二年四月一日現在）の子供については、月額二千五百円、三人目以降九歳未満（昭和六十二年四月一日現在）の子供については、月額五千円

年金相談開催

国民年金、厚生年金制度について年金相談が開催されます。年金制度についていろいろと疑問に思われている方はお気軽に御相談下さい。

日時 10月21日 火曜日
9時～15時まで
場所 老人福祉センター

森林組合の組合長

平川さん退職

森林組合の組合長平川さんが、八月三十日付をもって退職され後任に右田始さんが九月一日付で就任されました。

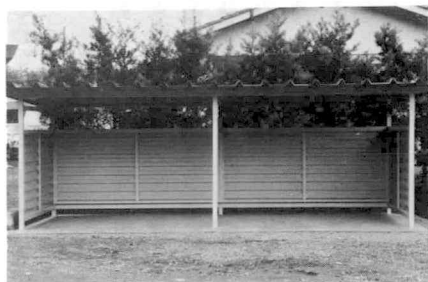


平川証明さん 右田始さん

バス通学生用自転車

※単車置場完成

去る九月二十四日、かねてから町民より要望の多かったバス通学生用の自転車・単車置場が完成しました。
田代からバスを利用して、通勤、通学される皆さん大いに御利用下さい。



完成した自転車・単車置場

むらづくり一品運動

柿「管理作業」

一、土壌管理
秋口の雑草の生長は早いので、雑草が繁っておれば草刈を実施します。
土壌改良は検診によるのが

望ましいが、めやすとして今月下旬（基肥施用2週間前）十アール当り苦土石灰百キログラム、ようりん四十キログラムを施用します。
三病害虫防除
上旬に炭そ病、うどんこ病防除のため三十二式ボルドウ液またはトップジンM千倍を散布します。
バンド誘殺（ヘタムシ等）の時期であるので、古布等を主幹、主枝等にまいておき、幼虫を誘いこみ、冬にこれをはずして虫もろとも焼きます。
三新植準備
年内に植付（十二月上旬）られるよう早目に準備します。永久樹の距離は七メートルとするが三・五メートル間隔に六十センチメートル程度の穴を掘り、苦土石灰、ようりん（各一キログラム）堆肥を入れ盛土します。
土壌病害予防のため土壌消毒を実施します。
○全面消毒法（十アール当たり三十キログラム）
○部分消毒法（十アール当たり四キログラム）
植穴の盛土部分に深さ十五センチメートル、三十センチメートル間隔で住入（十六カ所程度）

また、校舎も造りが変わっていて、図書室は二階にあって廊下の方の壁はなくオープンになっています。
図書室の下の一階は、学年集会等ができる広間があり、上の図書室の廊下から一階の広間が見える構造になっています。

その他、放送室や体育館など改良された構造になっていて生徒もちょうどテスト中でしたが、落ち着いた雰囲気です。
次に、鹿屋農業高校に行きました。二十名は会議室で、本町の宮園先生からいただいた農家の牛乳を飲みながら、農家の校長先生の話を聞き、その後、校内の巡視になりました。

お知らせ

第21回町民運動会について

一期日 昭和62年10月10日
(雨天の場合11日)
二主催 田代町
三会場 田代町中央運動場

本町恒例の町民運動会が右の要領で開催されます。
当日は、会場周辺の交通が混雑します。交通安全に充分注意してご参加下さい。
尚、家を留守にしますのて盗難防止のための戸締りと火災防止へのご留意をお願いします。

第11回町文化祭について

一期日 昭和62年11月2・3日
二主催 田代町文化協会
三会場 田代町開発センター

この文化祭の趣旨は、本町における芸術文化活動と鑑賞の機会を提示し町民の文化に対する関心を高め、芸術文化の振興を図ることで実施されます。多くの方々の作品展示や舞台発表をよろしく願います。

和田先生(田代小)指導によるレクリエーション



去る八月十九日(水)町スポーツ少年団交歓大会が行われました。

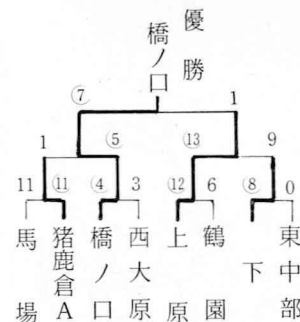


美化活動で集まったゴミと一緒に

町スポーツ少年団交歓大会



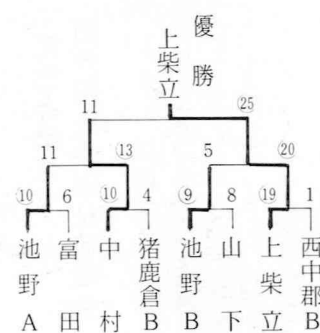
Aクラス優勝 橋ノ口小組合チーム



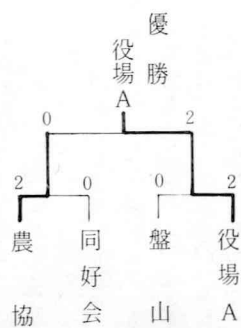
第二十二回小組合対抗ソフトボール大会が九月二十日(日)に中央運動場ほか六会場で行われました。結果は次の通りでした。



Bクラス優勝 上柴立小組合チーム



当日は、快晴の天気となり各会場には早々と各選手が集まり、午前七時五十分、中央グラウンドを皮切りに試合が開始されました。



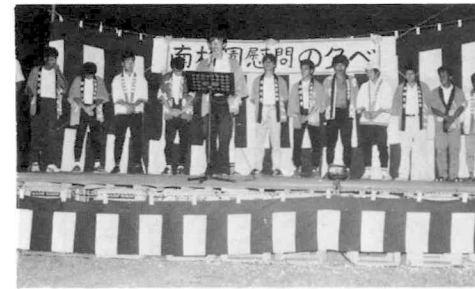
優勝した役場Aチーム

「町バレーボール協会杯バレーボール大会」
一役場Aチームが初優勝
去る九月十二日(上)町協会展杯バレーボール大会が開催されました。大会の結果は次の通りでした。

青年団だより

『南松園慰問の夕べ』四年ぶりに復活

去る九月五日(土)川原地区青年団(小川誠団長)が五十八年から途絶えていた「特老ホーム南松園の慰問納涼大会」を四年ぶりに開きました。五月の総会時旧役員から昔は慰問をやっていたが、と意見が出たのを、会員が賛同し実現しました。当日は、青年団全員が手分けして企画から舞台の設営まで一生懸命やりました。



団員のあいさつ

灯のともった盆ちょうちんの下、夜店が並び町内から数多くの見学者が見守る中、踊り、歌、劇、かわいい園児の演奏や遊戯などがありました。五十余人の入園者は、青年団の優しい心配りを受けながら、楽しいひとときを過ごしました。
見学者からも楽しい催しを復活させて非常に良いでした。今後も続けてほしいという声がありました。青年団の皆さんご苦労さまでした。



早く始まらないか待ち遠しいです

『キャンプ』実施

田代町連合青年団が、恒例のキャンプを八月二十九日から三十日にかけ花瀬公園キャンプ場で行われました。青年団は、年間行事の一環として新人団員の歓迎会を兼ねて実施しています。昨年好評であったニワトリの解体を今年も行いました。講師に川原保育園の乾加代子栄養士をお願いし、捌き方・調理法を学習しました。



よそ見しないで捌いてくれよ

全国表彰(功労賞)を受賞

中原操体育指導委員



表彰状を手に 中原操さん

昭和六十二年度全国体育指導委員連合会から功労者として表彰を受けました。これは長年、委員として功績のあった人が県より推薦され選考委員会が決定するものです。本年度も県から三名の表彰者があり、去る九月九日、札幌市で表彰式が行われました。
中原さんは二十八年間という長い委員生活と実績等が評価されました。五年後の文部大臣表彰を目指してさらに活躍されることを祈ります。



熱弁をふるう川井田県同和教育課長

第二回小組合長研修会開催

本年度第二回小組合長研修会が去る九月二日(水)に開発センターで開催されました。協議の中心として、小組合対抗ソフトボール大会及び町民運動会の説明が行われ、活発な意見交換がなされました。その後、県教育庁同和教育課長川井田稔先生が「現代を生きぬく人づくり七章」と題して講演がありました。川井田先生の手振り身振りを加えた講話に時々大きな笑い声があがったり、納得したりと心に残る研修会でした。

健康だより

健康チェックしてまずか

季節の変わり目を感じるこの頃ですが、身体も夏の暑さから寒さに向かって対応がむずかしい為、風邪をひいたり、体調をくずしがちです。

そこで九月～十月は、ガン制圧月間、成人病月間として、自分の健康に注意をむけてもらおうとしています。

現代はまさに車社会ですが、車の場合は、二年に一回は必ず車検を受ける事が義務づけられており、車検を受けて一応車の性能・安全性が確認された車でなければ、乗る事もできないし、罰金を納めなければなりません。

さて、人間の場合はどうでしょう。
四十年・五十年と使った身体でも、二年に一回、毎年と健康診断を受けて身体の機能の働きについて、大丈夫かどうか確認しなければならぬと言ふ事はありません。

しかし国民の医療費の動向や高齢化社会をむかえて、それではいけない。なんとかしなければと言ふ事で、老人保健法と言ふ法を制度化し、人にも車の車検と同じ様に四十才以上の人は健康診断を受けなければならぬという事を義務づけました。

町でも十月～十一月にかけて胃検診・成人病検診と計画していますので、胃検診では過去三年間一回も検診を受けた事のない人は特に、胃の車検を今年こそは受けてみましょう。

又成人病検診では、今年は大腸癌の検診も一諸に行いますので、通知を受けた人は参加し、成人病予防に努めましょう。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



「篤志寄附金」
田代町社会福祉協議会

さきに、御逝去されました御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚くお礼を申し上げますと共に御冥福をお祈り申し上げます。

小川 典 興 様

小 牧 純 男 様

川原青年団一同から、「社会福祉のために役立てて下さい」と、社会福祉協議会に多額の御寄附を賜りました。
このお金は、先般行なわれました「南松園慰問の夕べ」の運営資金の一部だそうです。
町民一同と共に、厚くお礼申し上げます。

シルバーマークを
お勧めします

高齢者ドライバーの
交通安全マーク

高齢者の社会参加を促進するには、参加しやすい社会環境を創ることが大事です。
その一つとして交通弱者とされている高齢者が自動車を運転することにより、より社会参加しやすい条件を得ることが出来ます。

こうしたことから、高齢者ドライバー自身も自らをいまして、他のドライバーも高齢者ドライバーに思いやりを持てるようシルバーマーク（高齢者ドライバーマーク）を作成し、その普及と販売をするものであります。

ドライバー同志がシルバーマークを通じお互いにコミュニケーションを図り、安全で思いやりのある社会を創れるよう、一人でも多くの方が「シルバーマーク」を購入していただき、活用されるようお願いいたします。

販売問い合わせ先

大根占地区交通安全協会

電話

〇九九四二二二六七三

昭和62年度第三次自衛官募集

- 一、募集期間 (一)男子 昭和62年10月1日～昭和62年12月31日まで (二等陸士、二等海士及び二等空士)
- 二、応募資格 採用予定日の1日現在で18歳以上25歳未満の日本国籍を有する者で、学校教育法に定める中学校卒業程度以上の学力を有し、かつ自衛隊法に定める欠格条項に該当しない者。
- 三、試験科目 筆記試験 国語(作文を含む)・数学・社会、身体検査、適正検査及び口述試験